

学校 教育 目標	○分かる喜びやできる楽しさを味わうことを通して、確かな基礎・基本の習得のもと、自ら問いかけ、自ら解決する子どもを育てます。 ○多様な触れ合いの場を通して、お互いの良さを認め、自分を高め、よりよく生きようとする子を育てます。 ○体力づくり・仲間づくりを目指した体験的活動を充実させ、命の尊さを知り、健やかな心と体を育むために努力する子を育てます。 ○体験的触れ合い活動を充実させ、地域に学び、地域を愛する子を育てます。 ○伝える・聞くなどのコミュニケーション力を育て、食・福祉・環境などの今日的課題についての考えを深め、実践する				
	創立 143 周年 学校長 富田 操 副校長 石渡 範子 2 学期制 一般学級：9 個別支援学級：2 児童生徒数： 234 人 主な関係校： 飯島中 大正中 南戸塚中 飯島小				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	飯島中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <問題発見・解決能力> <情報活用能力> <公共心と社会参画力>	飯島中 飯島小 千秀小	・字ひの基盤を育み、体験的学習や課題解決的学習に主体的に取り組み、互いに高め合い自分の考えを広げたり深めたりする子。 ・義務教育を終える段階で身につけておくべき資質・能力を明確化し、その具現の視点をもって各教科等の改善・充実を図る。 ・児童・生徒一人ひとりの課題や教育的ニーズをきめ細かく捉え、ニーズに応じた指導・支援を行う。 ・地域の人的・物的資源を活用し、社会教育との連携を図り、子ども像を社会と共有・連携しながら実現させる。

中期 取組 目標	○学校教育目標を実現するために、全ての児童が豊かに自己実現できる学校づくりを目指します。 ・分かる喜び、できる楽しさを成就する授業づくりの推進のもと、本校に学ぶ全ての子が自信をもった姿が育成されています。 ・多様な触れ合いの中、心と心を通い合わせ、個性あふれる人間性と豊かな社会性をもった姿が具現化されています。 ・体力づくり・仲間づくりを目指した多様な運動機会を充実させ、子どもたちが命の尊さを知り、健やかな心と体を育むために努力しています。 ・本校の子どもたちの幸せのために小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域と連携し、信頼に応えられる学校づくりを進め
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①家庭学習と連結したマナビータイムの推進及び、スモールステップでの習得状況の把握を通して、基礎・基本の徹底を図る。②課題把握・自力解決・集団での思考の磨き合い・課題解決の学習スタイルの導入を進め考える力の育成を図る。合わせて、言語活動の活性化・学習力の育成も視野に
担当 学力向上委員会	
豊かな心	①スマイル活動、あいさつ運動、地域との交わり等、多くの人との交流の機会を大切にし、心の満足のもと、自分の居場所づくり、人への思いやりの心を高めていく。②道徳教育の充実、体験的活動の充実を進め、全人的な情意の育成を図るとともに、社会生活における道徳的実践力・判断力の育成を進める。
担当 子ども部会	
健やかな体	①体力テスト等各種検査に基づいた体育科授業の改善を図り、運動のもつ良さの体験を重ね、運動意欲を高め、調和のとれた身体の成長を図る。②多様な運動機会を提供し、運動生活の日常化を図り、逞しい心身の育成につなげる。③各種防災・安全に関わる教育の中、危機意識の育成・健康
担当 すこやか部会	
児童生徒指導	①学校生活のあらゆる場面で児童に寄り添い、児童の多様な理解を進める。②各種調査の定期的・継続的な実施をし、課題の把握、課題を抱える子への共通した全校サポート体制を一層整備していく。③家庭、児童育成に関係する機関との連携を密にし、社会全体で育成を
担当 児童支援専任	
教育課程 学習指導	①少人数指導・習熟度別指導の積極的導入を図り、すべての児童に「分かる」「できる」を実感させ、学習成就感を高める学習指導を実践する。②教科・領域の枠にとらわれず、関連する事項を結びつけた横断的な取り扱いを進める。合わせて、アクティブラーニングの導入を図り、問題解決能力の
担当 教務部	
地域連携	①学校運営協議会の学校理解を今まで以上に図り、経営への参画・協議会からの発信を進めていく。②チーム千秀・PTAを中心として、地域・家庭の教育力の学校教育への積極的な導入を図る。特に
担当 特色研究部	
特別支援教育	①インクルーシブ教育の推進を図り、個々の子どもに合った形での多様な交流を進める。②個別支援教育の充実については保護者の理解を図り、保護者と共同歩調を重視して経営を実践していく。③困り感をもった児童への共感的支援を進めるため、組織的な取り組みの整備を図る。
担当 特別支援教育部	
安全教育	①避難・防犯訓練を、訓練のための訓練でなく現実として起こりうる状況を実際想定した上で行う。②教職員だけでは対応しきれない状況をどのようにサポートしていただくかを想定した上で、地域・保護者の方の支援を仰ぐ体制作りを推進していく。
担当 防災部	
いじめへの対応	①常に、教職員が児童・保護者地域等多方面・他視点から情報を受け取ることができるよう信頼関係を構築し、その情報をもとに迅速に対応します。②いじめに関わった児童全員がそれぞれに納得し、前向きに生活を始め、よりよい関係をつくっていけるように支援・対応をしていきます。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①メンターの研修、中堅教師の研修等、それぞれのキャリアに応じた教師力の育成を図る。②職員全体が学校教育目標の具現をめざす目的集団となることを目指し、自由で闊達な情報交換やコミュニケーションがとれる職場づくりに勤める。③ICTの活用、事務の見直し等を進め、仕事の効率化を図り、早い時間の退出を促す
担当 管理職	